

## Japan Biodesign 発足

- 大阪大学、東京大学、東北大学とスタンフォード大学は先月29日、バイオデザインの導入の為、提携の調印を行った。同プログラムは医療機器イノベーションの人財育成を目的としたもの。教科書を9月に発刊し、今年の秋から開講予定。
- 文科省からの支援に加え、日本医療機器産業連合会は、関係企業から寄附を募り、運営費を支援。その他、講師派遣、受講生の確保・キャリアパス等についても。
- 安倍首相は、5月の訪米の際、スタンフォード大学での講演で、この提携について言及。

# 健康増進に取り組む企業14社、「KENKO企業会」を先月29日に設立

- 経営トップが主導して社員の健康増進に取り組むボランティアの企業会。総社員数12万人、家族を含めると30万人。会員は14社に限定せず、趣旨に賛成する会社は業種を問わず加入出来る。
- 8つのテーマを中心に、健康管理プログラムや経験等のベストプラクティスを学び合い、効果的な手法の開発、データの活用を行う。組織の活性化、退職前から健康維持の習慣づけ、健保組合費用の抑制、健康寿命の延伸等につなげたい。

## KENKO企業会設立メンバー(五十音順)

株式会社ABC Cooking Studio  
株式会社NTTドコモ  
オムロンヘルスケア株式会社  
協和発酵キリン株式会社  
株式会社グリーンハウス  
第一生命保険株式会社  
大日本印刷株式会社  
株式会社タニタ

帝人株式会社  
テルモ株式会社  
株式会社ニトリホールディングス  
株式会社三越伊勢丹ホールディングス  
株式会社LIXIL  
株式会社ルネサンス

## 医療番号制度の導入について

- 「医療の質」を向上させる重要な制度。レセプト、DPCに加え、個人をベースにしたコストを含む医療アウトカムの把握が可能になり、大きなメリットが得られる。台湾の成功例が参考になる。なお、個人情報扱いにはシステム設計上、留意は不可欠。
- 個人の医療番号制度は、国民の健康意識を高め、健康寿命延伸につながる。同制度のメリットを広く国民に知らせることが大事。
- 医療アウトカムのデータを比較することにより、「医療の質」の向上のみならず医療の無駄の削減や「医療費」の抑制を可能にする。
- 2025年問題に向けて早期の導入を。
- 高齢化社会の日本の豊富なデータは、世界の医療の向上に貢献できる。

平均寿命 × 健康寿命

一人当り医療費

= National Healthcare Index  
総国民健康指数

	平均寿命		健康寿命		NHI	
1	日本	84	シンガポール	76	シンガポール	2.19
2	シンガポール	83	日本	75	イタリア	1.99
3	イタリア	83	イタリア	73	日本	1.78
4	カナダ	82	カナダ	73	イギリス	1.65
5	フランス	82	フランス	72	カナダ	1.47
6	スウェーデン	82	スウェーデン	72	スウェーデン	1.42
7	ドイツ	81	ドイツ	71	フランス	1.39
8	イギリス	81	イギリス	71	ドイツ	1.25
9	アメリカ	79	アメリカ	70	アメリカ	0.62

同指数は先進国のみに適用可能